

# さくら学園だより

庄内さくら学園中  
学校だより  
2023. 2. 28  
No. 10

2月14日1時間目に1・2年生合同で道徳の授業を行いました。教材を通して「思いやりの心ってどういうこと？」をテーマに交流を行いました。授業の内容を紹介します。保護者の皆様も教材を読んで、子どもたちと交流してみてください。

題名「はしのうえのおおかみ」

学びのテーマ＜感謝・思いやり＞

「交流を通して思いやりの心について考えを深めよう」

一本橋があり、うさぎが渡っていくと、おおかみがむこうからわたってきました。おおかみにどなられたうさぎはもどっていきました。ある日、おおかみが渡っていくと、くまがむこうからわたってきました。おおかみはあわててもどります。すると、くまはおおかみに声をかけ、おおかみをだきあげて後ろへそっと渡してあげました。次の日、橋の真ん中でおおかみはうさぎに出会いました。おおかみはうさぎをだけあげて、うしろへそっとおろしました。

教材を読んでみてどうでしたか。うさぎをだきあげて、うしろへ渡したおおかみの行動は思いやりの心といえるのでしょうか。うさぎにとってはどうだったのでしょうか。子どもたちからは、「おおかみの自己満足ではないか。」「くまの真似をしているだけでは、本当の思いやりの心とはいえない。」「うさぎはありがとうと言っていないし、本当にそうしてほしかったのだろうか。」「まず、前までのいじわるを謝ってほしかったと思う。」様々な考えを持ちながら、異学年の交流を通して、「思いやりの心ってどういうことだろう」とさらに考えを深めていました。

保護者の皆様はこの教材を読んで、「思いやりの心」についてどう考えましたか。ぜひ、子どもたちと「思いやりの心ってどういうことだろう」と考えを交流してほしいと思います。子どもたちの考え方を受け止めながら、保護者の皆様の思いや考えを子どもたちに伝えてあげてください。

本時の最後に、校長より以下のようなまとめの話をしました。

他人には自分とは違った様々な考え方があります。育ってきた環境も違うし価値観も異なる。好き嫌いも違うし、得意、不得意も異なります。話せば話すほど分かることは、他人と自分とは違うということです。そんないろいろな考え方を持った人が集まったのが「クラス」であり「学年」であり、「学校」です。ただ、分かり合えない部分があることや、意見や思いが異なることは「溝」や「壁」ではなく、むしろ「出会い」です。すべてが同じ考えでは、そこからは何も生まれません。違うからこそ互いの考えを交流したり議論をしたりして、いいものが生まれてきます。でもその違いを「溝」や「壁」でなく、「出会い」するためには、「安心して話せる」ことが必要です。相手の気持ちに寄り添い、想いの先を共有しながら、心地のいい会話をつくり合えたら素敵だなと思います。クラスを、学年を、そういう場所にして欲しいと思います。様々な考え方を持った人たちが集まった今のクラスで過ごすのも、最後の1か月です。そして4月からは1年生から9年生までが約1000人いる学校になります。

新しい学校で、8年生、9年生になる皆さんが、他人と違うことを楽しめる安心できる学校に率先して創ってもらえたらと期待しています。